

公明党を代表し、ただいま議題となりました議案第1号令和2年度函館市一般会計補正予算案につきまして、賛成の立場から討論をいたします。

5月25日、緊急事態宣言が全面解除され、全国的に新たなステージに入りました。函館市では4月21日以来、感染者が出ていない状況であります。これもひとえに、外出の自粛や休業要請等に対する市民の皆様の御協力のたまものであります。

ここで改めて、全ての皆様に心からの感謝を申し上げます。

一方、暮らしや経済、特に観光業に係る影響は一層深刻さを増しております。函館市第3次補正予算案は、1次、2次補正等で措置をした緊急経済対策を強化するとともに、新たに生じた課題や不安に応えるためのさらなる支援策を実行する予算となっております。

1次、2次補正等と合わせ、総額317億5,316万円、一般会計の四割を超える対策費を確保したこと、これは、今後何が起ころうとも、国民の命と暮らしを守り、事業を支え、経済再生を果たすとの政治の断固たる決意のあらわれであると受けとめます。

私たち公明党はこれまで、工藤市長はじめ函館市に対し、多くの市民の声を届け、様々な視点から具体的な要望や提案を重ねてまいりました。

まず、3月の代表質問では、新型コロナウイルス感染症の市民への正しい情報の周知と相談体制、経済への影響と 中小企業・団体等への支援、クルーズ船対策等について質問いたしました。

続いて、4月7日には公明党函館市議団として、新型コロナウイルス感染症拡大による自粛生活に影響の出ている 市民や事業者に対して支援を求める緊急要望を市長に提出いたしました。

さらに、6月の定例会では、今回の函館市緊急対策 第3次補正を視野に大綱3点について質問をさせていただきました。

それらを踏まえ 以下、主な賛成理由を申し述べます。

第一に、事業継続と雇用を守り抜く予算となっている点であります。

特に6月定例会で質問した「新たな日常」への変革に向けた支援策では、宿泊・観光業等への支援として、学校休校やイベント自粛等で中止となった修学旅行等、イベント輸送、地域行事等の延期開催を促進するため、地方創生臨時交付金の活用を含め、必要なスキームの構築を進めることを求めました。

今回の対策では、

「北海道・北東北集中観光プロモーションの実施」

「交通事業者と連携した観光プロモーションの実施」

「ワーケーション体験ツアーの提供およびモニタリングの実施」が予算化され、新しい生活様式に対応した観光地づくりに対し、評価いたします。

また、市民の注目を集めているプレミアム商品券は、予想を上回る4万3千人の応募があり、2万人の方が抽選からもれました。今回予定している追加発行では、抽選にもれた市民の方からは喜びの声が広がっております。今後、地域経済の即効薬として活性化が図られると期待しております。迅速な執行と市民への丁寧な対応をお願いいたします。

第二に、暮らしを守り抜く予算となっている点であります。

中でも、ひとり親家庭への支援であります。6月定例会で私は、もともと経済的基盤の弱いひとり親家庭は想像を絶する状況に置かれていることを訴え、国のひとり親世帯臨時給付金の対象外世帯に対しても支援を求める要望をさせていただきました。

今回「ひとり親世帯応援給付金の支給」として、国の給付金の対象外世帯に対して1世帯あたり5万円を支給することは高く評価いたします。

また、「学童保育・保育所従事者への慰労金の支給」では、保育所等の職員は、多くの児童や保護者等と接する機会が多く、感染リスクが非常に高い業務に従事し、学校の臨時休校時においても、通常どおりの開所をしていただいた経緯があります。また、保育所職員の皆様は、通常の施設運

営に加え感染症対策にも取り組むなど、精神的・身体的な負担が重くのしかかっております。コロナ禍で、ある意味 医療、福祉従事者等のお子様を預かることは、医療・福祉を継続させることを意味し、市民全体を助けることに繋がります。保育所等に勤務する職員に対する今回の慰労金支給は意義深い施策であります。

第三に、市民の命と健康を守り抜く予算となっている点であります。

医療提供体制を強化する取組を 一層支援するため、感染拡大時に備えた医療物資の購入が計上されております。今後の感染拡大に対応するため、マスク、アイソレーションガウン 陰圧テント等の医療物資を備蓄することは、市民の安心にもつながります。

さらに、我が党の要望を踏まえ、数百人規模の施設でのクラスターに対応するため全自動 PCR 検査機器 2 台の購入が予定されております。

そのほか、近年頻発をしている大規模災害に備え、避難所の感染防止対策となる物資を備蓄するための予算も盛り込まれ、「災害時における避難所の感染拡大防止対策」として、マスク、消毒液、フェイスシールド パーティション、屋内テント エアーマット、ラップ式トイレ等の購入も見込まれ、6 月定例会で指摘した「避難所での三密対策」も整います。

最後に、予備費に 8 億 6,488 万円が計上されております。

また、財政調整基金繰入金の 10 億円を取り止め、今後の対策のための財源として 18 億 6,488 万円を留保しております。長期戦を見据え、再流行のおそれや現時点では想定し得ない状況変化に迅速かつ的確に対応するため、十分な備えを確保した点は、評価をします。

その上で、予備費の使用に当たっては、市民の皆様の納得が得られるよう、議会への十分な説明をお願いしたい。真に市民のニーズにかなう措置が行えるよう、公明党も引き続き、現場の声をお聞きしながら、市長や部局との緊密な連携を図ってまいりたい所存であります。

以上、本予算案は、コロナによる難局から力強く回復していくための予算となっております。厳しい状況の中で御奮闘されている市民の皆様の思いに応えられるよう、本予算案の速やかな成立と迅速かつ着実な執行を強く求め、私の賛成討論といたします。